

再建だより (第4号)

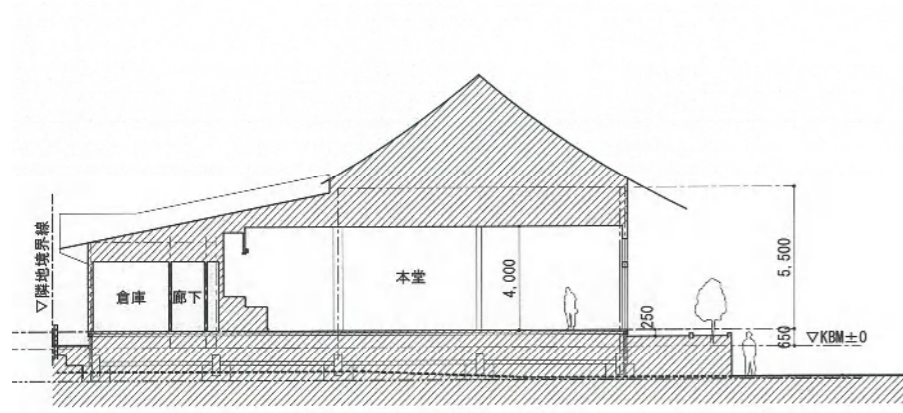
基本設計決定!

- ・第五回打ち合わせ (5月20日)
- ・第六回打ち合わせ (6月21日)
- ・
- ・

仕上げ表 (その1)

外部仕上げ表							
部	種	仕	材	巾	木	吹付けタイル(アクリル樹脂)	
本堂	屋根	杉板 t15 + ゴムアスルーフ下地 + 飛簾瓦葺					
書院	屋根	杉板 t15 + ゴムアスルーフ下地 + 桂瓦葺					
本堂	外壁	ケイカル板 t6 FP					
本堂	内装	いぶし雨樋バナソニック「定シリーズ」落葉よけネット付 (堅種φ75共)					
書院	内装	「ジェイスケアPJ70」(スチール芯増ビ樹脂積層)					
本堂	外壁	透湿防水シート + ラスカット + 耐水塗膜					
書院	外壁	透湿防水シート + サイディング t14下地 + ジョリバット吹付、一般塗装サイディング t16					
内部仕上げ表							
室名	床	巾	木	壁	天井	見切	備考
本堂	内 障	縁甲板	桧H60	ラスボード + 漆喰	小組格天井(格縁:桧/縁板:杉突板)	杉	
	須弥壇	桧上小節板貼W300	雑巾摺	△	△	△	
	上間・下間	畳 t55	畳寄	△	竿縁天井(竿縁:杉、羽重:杉生突板)	△	トップライト
	床の間	薄織畳(職製表、絨織)	△	△	杉狂合板縁板貼	△	
	遣い組	ケヤキ突板貼	雑巾摺	△	△	△	遣い組:ケヤキ
	押入	シナ合板	△	シナ合板	シナ合板	△	中段、天袋
	室中・鳥居	畳 t55	△	△	△	△	
広 縁	縁甲板	桧H60	△	△	竿縁天井(竿縁:杉、羽重:杉生突板)	△	
書院	玄 關	タイル貼	床と同じ	石膏ボード + 珪藻土	折上天井(格縁:桧/縁板:ケヤキ突板)	△	上がり座、式台、下足入(客具)
	ホ ー ル	無垢フローリング(桧)	桧H60	△	杉中生合板敷目板貼	△	飾り組
	北・西廊下	△	△	石膏ボード + ビニルクロス	石膏ボード + ビニルクロス	△	
	中 廊 下	△	△	石膏ボード + 珪藻土	杉中生合板敷目板貼	△	
	東 廊 下	△	△	△	△	△	
	杖 納	シナ合板	雑巾摺	シナ合板	シナ合板	△	
	茶 室	畳 t55	畳寄	ラスボード + 土壁調仕上げ	竿縁天井(竿縁:杉、羽重:杉生突板)	△	押
	床 の 間	ケヤキ突板貼	雑巾摺	△	杉狂合板縁板貼	△	遣い組
	水 屋	畳 t55	畳寄	石膏ボード + 珪藻土	杉中生合板敷目板貼	△	水廻組

※内部仕上げ表は、4ページに続きます。



本堂南北方向 断面図 1/200

境内伽藍の立体模型を見て、私が入寺した約30年前を思い出します。本堂前はすべてコンクリートで固められ、軒先ぎりぎりまで幼稚園バスが乗り入れられていました。幼稚園バスと鳥小屋との間の、わずかな通路を通ってお寺の玄関にたどり着くというありさまでした。

これではお寺らしさが感じられないと思い、ひたすら庭の手入れをしました。挿し木で増やしたサツキを植え込み、御影石の廃材を拾ってきて参道を作ったり、水道管を埋設して手水鉢をしつらえたり、よく職人さんや植木屋さんに間違われたことがありました。

再建にあたり、庭がけずられ、ふたたび本堂前を駐車場にしなければならなくなりましたが、今度は入念な全体計画に基づくものですから、かならずまとまりとお寺らしさを兼ね備えた境内になるものと思っています。

臨濟宗妙心寺派 圓福寺
 千葉市稲毛区穴川町375
 電話: 043 (251) 9181
 FAX: 043 (251) 9549
 電子メール: oshou@chiba-enpukuji.com

次回の打ち合わせで概算が出されます。

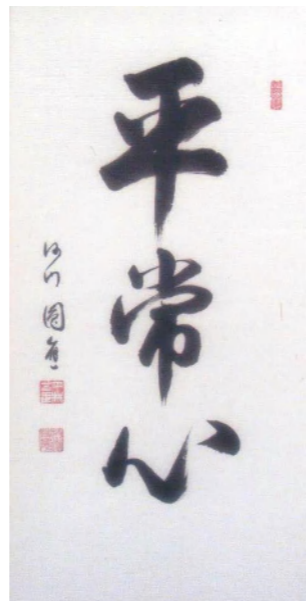
6月21日の第6回打ち合わせで、基本計画がほぼ出来上がりました。今後、細部の多少の変更はあるかもしれませんが、大きな変更はありません。

役員さんには何回も打ち合わせにお集まりいただき、貴重なお時間とご意見を頂戴してありがとうございました。

イメージ図を見ながら役員さんがつぶやきました。「あんまり立派になって、入りにくいような感じをもたれたら困るねえ。」と、自分たちで基本計画を立てながらも心配していました。「前の印象が残っているから、そう思うんだよ。」と別な役員さん。

建物が新しくなっても、これまでの行事や活動は変わらずに続けてまいりますし、なによりそこにいる住職や役員さんなんか急にエラソーにするわけでもありませんからご安心ください。なにしろ、お寺の土地や建物をはじめとする財産は、すべて檀信徒の皆さんのものなのですから・・・。

次の打ち合わせは7月26日を予定しています。次回の打ち合わせで、建築費の概算が提示されることになると思います。基本計画の完成をもって、再建だよりの第1巻をしめくり、次は資金計画に関する第2巻になるかと思えます。



放牛窟系原圓應老大師の墨跡「平常心」

目次:

仕上げ表 (その1)	1
第5回打ち合わせ内容	2~3
第6回打ち合わせ内容	4~5
玄関・書院イメージ図	6
伽藍立体模型	7
本堂断面図	8
次号予告	8

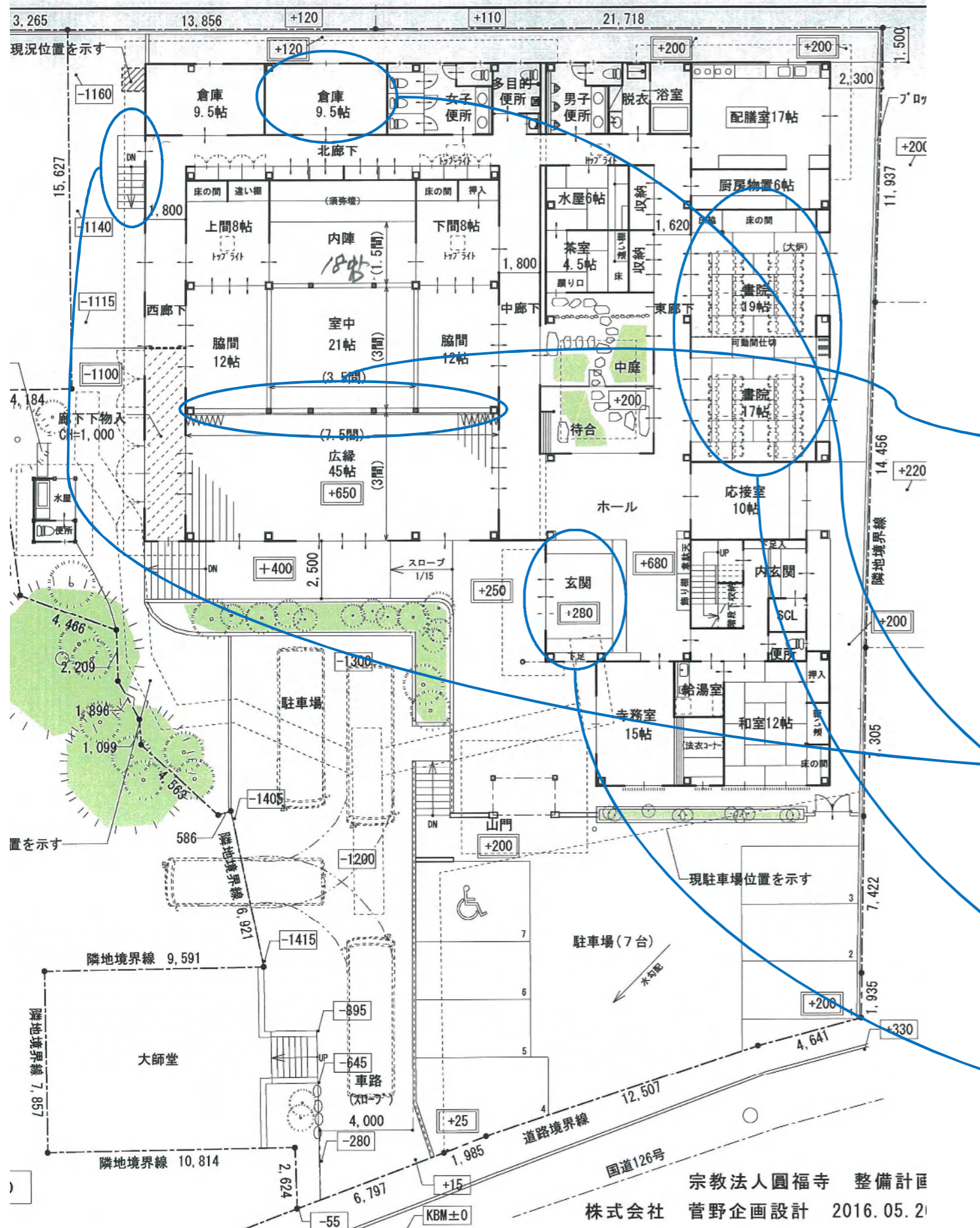
仕上げ表の確認

基本設計の打ち合わせも、仕上げの打ち合わせをするようになり、そろそろ最終段階をむかえつつあるようです。

平面図は視覚的に確認できるので、建築の素人でもなんとなくわかりますが、仕上げ表になると専門用語が当たり前羅列されます。「ケイカル板」「ラスカット」「サイディング」「ラスボード」「竿縁天井」「折上天井」などな

ど、ざっとあげただけですが、この建築用語を知らなかったら、その説明からしてもらわなければならないのですから打ち合わせも大変です。

幸い、今までに書院の増築や庫裏玄関の改修、大師堂の新築、幼稚園の建て替えなどの工事の経験が生きていますので、専門用語を羅列されても大丈夫です。



宗教法人圓福寺 整備計画
株式会社 菅野企画設計 2016.05.21



6月21日の打ち合わせには、伽藍の模型も持ちいただきました。平面図、イメージ図、さらに立体的になると全体像が見えてきます。
 おおまかな模型ですので、屋根の形状等は精密ではなく、あくまで概観としてご覧ください。

都市型のお寺に

立体模型を見ると、本堂・書院の拡張と、駐車場確保のために、いままでの本堂前や玄関への園路周りの庭はなくなることがよくわかります。わずかに残るのは本堂西側、墓地に向かう園路の庭だけとなります。
 これまでは、赤松や高野マキといった巨木、石庭、池、三つ葉ツツジ・サツキ・ツバキの庭木類を配した庭で禅らしさを醸し出していたのが一転して、ど

ちらかという都市型の禅寺に変貌を遂げる印象を受けます。
 それでも、以前のイメージを残したいとの設計士さんの思いで、本堂前に少しだけ植栽をして、本堂に座ると緑が目に入り、緑に囲まれた印象になるようにしてくださいました。

6月21日 第6回打ち合わせ

6月21日の打ち合わせの資料にもイメージ図を何点か用意していただきました。イメージ図をもとにした打ち合わせもいたしました。

・玄関天井について

前回の打ち合わせ時に格天井を組み込んだものだったのを、シンプルに竿縁天井にしてもらいましたが、斜めの部分ができてしまいました。

下駄箱側から見ると何となくおさまっているように見えますが、本堂側の中廊下から見たときのおさまりが悪いのではないかと意見が出されましたし、やはり禅寺らしく平らな方がふさわしいので修正をお願いしました。



・書院のイメージ

前回打ち合わせの、変則的な天井を改良して、天井高を確保してシンプルな仕上がりにしてもらいました。

可動式間仕切りでスムーズに仕切れるようにするため、床の間側が16帖、下座側が22帖の広さとなっています。

通常は椅子とテーブルでの使用を考えておりますが、和尚さん方の控室になる時には畳でなければならないので、床は畳敷きとしました。



・応接室

檀信徒の方がご法事の打ち合わせや、ご相談でお見えになった時にお通しする応接室は、最近の生活スタイルや住宅事情等を考慮して、椅子・テーブルの洋間にしようと思っています。安心して、ごゆっくりお茶でも召し上がってください。

ちなみに、正面の洋画とか帆船の飾り物は、あくまでイメージで、私の趣味ではありませんので、こちらでもご安心ください。



変更点

・北廊下突き当りに避難口

本堂左奥、北廊下突き当りに掃出しを設けて、外部に出られる避難口を設けた。これに伴い、北廊下のトップライトを減らすことができた。

・本堂西側に窓または掃出し

本堂西側が壁面だったのを、窓または掃出しを設けることで、採光を確保することができ、本堂が明るくなると考えられる。

・トイレ前のトップライト

男子便所前の採光がなく暗くなると考えられるので、廊下にトップライトを設けて採光を確保した。

・多目的トイレの位置変更

多目的トイレを男女トイレの間に配置し、中廊下からスムーズに入れるように改良した。

・駐車場と園路との境界

駐車場と墓地への園路との境界を明確にして、安全性を確保した。

・駐車場と建物との境

駐車場と庫裡との間に植栽を設けた。

質問、要望など

I、本堂

・室中と広縁の間の建具について

本堂空調の効率性・経済性を考慮して、室中と広縁の間に建具を入れることを念頭に計画してきましたが、全部開いた時に建具のおさまりが非常に悪く、お参りの方から目障りになってしまうのではないかとのことでした。



そこで、改めて、実際に空調機稼働させたときのランニングコストを試算すると、一時間あたり数十円とのことでした。また、空調の効率は以前使用していた障子屏風などで改善できるとのことです、この部分の建具は取り付けないことにしました。

少人数での法要の場合には、本堂が少し広いかもしれませんが、かえて広々していて気持ちがいいだろうという意見が大半でした。

・本堂左奥の避難口

避難口の階段が墓地通路に張り出さないように、左奥倉庫の内部に階段を設けて避難口にしてもらいたい。

・内陣裏の倉庫

将来的に位牌堂にできることも考慮して、内陣の真裏になるように真を通して、そこから左右対称の部屋になるようにする。

II、庫裡

・書院の天井高

イメージ図のような天井にせず、できるだけ天井の高さを高くしてもらいたい。

・玄関の式台

今までと同様、無垢の材料で仕上げてもらいたい。



5月20日 第5回打ち合わせ

仕上げ表 (その2)

内部仕上げ表						
室名	床	巾木	壁	天井	見切	備考
寺院						
寺務室	無垢フローリング	桧H60	石膏ボード + ビニルクロス	石膏ボード + ビニルクロス	杉	
法衣コーナー	畳t55	桐	△	△	△	
和室12帖	△	△	石膏ボード + 珪藻土	竿縁天井(竿縁:杉、羽葺:杉漆突板)	△	
床の間	薄床畳(襦袢表、紋線)	△	△	杉板合板継ぎ貼	△	
違い棚	ケヤキ突板貼	桐巾唐	△	△	△	違い棚、天袋
押入	シナ合板	△	シナ合板	シナ合板	△	
給湯室	長尺塩ビシート	桧H60	石膏ボード + ビニルクロス / 化粧パネル	石膏ボード + ビニルクロス	△	流し台
応接室	無垢フローリング	△	石膏ボード + ビニルクロス	△	△	
書院	畳t55	桐	石膏ボード + 珪藻土	竿縁天井(竿縁:杉、羽葺:杉漆突板)	△	大炉、可動間仕切
床の間	薄床畳(襦袢表、紋線)	△	△	杉板合板継ぎ貼	△	炬
床脇	ケヤキ突板貼	桐巾唐	△	△	△	
経書床	△	△	△	△	△	
配膳室	長尺塩ビシート	桧H60	石膏ボード + ビニルクロス / 化粧パネル	シブトーン	△	厨房機器
厨房物置	△	△	石膏ボード + ビニルクロス	△	△	可動棚
脱衣室	△	△	△	杉節板	△	洗面台、収納棚、洗濯機置き
浴室	タイル貼	—	タイル貼、上部:松板貼	バスリブ	塩ビ	浴槽
男子便所	長尺塩ビシート	桧H60	石膏ボード + ビニルクロス / 化粧パネル	杉節板	△	手洗いカウンター(下部収納)
女子便所	△	△	△	△	△	手洗いカウンター(下部収納)
多目的便所	△	△	△	△	△	
倉庫	フローリング	△	石膏ボード + ビニルクロス	石膏ボード + ビニルクロス	△	

6月21日 第6回打ち合わせ

変更点

- **本堂北西角に避難口**
避難口の階段を建物内部に設けて、墓地通路に出っ張らないように改善。
- **本堂西側に窓**
本堂西側に窓を設けて、十分な採光を確保した。ただし、西廊下は地面からの高さがあるので、安全性を考慮して窓の下は締切とし、上部のみ引違の窓とする。
- **内陣裏倉庫の改良**
内陣の真裏になるように真を通して、そこから左右対称の部屋になるようにした。将来的に位牌堂等への転用もスムーズに行えるようになった。

要望など

- **墓地トイレ等**
墓地用外トイレ、手桶置場、水汲み場は、できるだけ底面積を減らすために別棟にしないこととする。トイレのみ本堂床下等に組み込んで、水汲み場などは石材で作った屋外設備にする。
この要望に対して、外用トイレを本堂西廊下の南端の床下に設け、この部分の廊下床を上げる。床があがった部分を本堂側からの収納スペースとする。以前の本堂と同じように、南西角に物入れができることになる。

